



公立学校共済組合
四国中央病院

日本医療機能評価機構認定病院

しこく

ホームページアドレス <http://www.shikoku-ctr-hsp.jp/>

第 49 号

2012 年 9 月

住所: 愛媛県四国中央市川之江町2233番地 TEL (0896) 58-3515 FAX (0896) 58-3464



宇摩向山古墳(うまむかいやまこふん)

今月のもくじ

◇巻頭言	
市民のための地域中核病院が必要ではありませんか？ …… 副院長 洲脇謹一郎	2・3
◇特集	
第1回四国中央病院「がんフォーラム」開催 ……………	4・5
◇地域連携だより 開放病床登録医師のご紹介 ……………	6
◇ひろば 市内の高校・中学校と ……………	7
◇新任職員紹介 ……………	7
◇院内のできごと・お知らせ ……………	8
◇表紙のことば ……………	8
◇編集後記 ……………	8

病院理念
【真心・信頼・連携・思いやり】

広報誌

しこく

第49号 発行平成24年9月14日
編集 四国中央病院広報・年報委員会
e-mail s-tyuou@shikoku.ne.jp

第 1 回四国中央病院「がんフォーラム」開催

広報・年報委員会

平成 24 年 7 月 21 日、四国中央市福祉会館におきまして、第 1 回四国中央病院がんフォーラムが開催されました。当日は外に出るのもためらうような夏らしい天気でありましたが、およそ 300 名もの皆さまが足を運んでくださり、「がん」に対する市民の関心の高さが伺われました。

当院は、厚生労働大臣が指定する「がん診療拠点病院」の機能を補完し、専門的ながん医療の提供や地域のがん診療の連携協力体制を担う病院として、平成 23 年 11 月に愛媛県から「がん診療連携推進病院」の指定を受けました。それに伴い、これまで以上に病院内での診療機能の更なる充実を図るだけでなく、四国中央市におけるがん診療の中核病院としての役割を果たしてゆくために今回の「がんフォーラム」を開催いたしました。



現在の日本では、国民の 2 人に 1 人が「がん」になり、3 人に 1 人が「がん」で亡くなっております。私ども日本人にとって「がん」はまさに国民病といっても過言ではありません。このような状況を受けて、国は平成 18 年に「がん対策基本法」を制定しました。その中でがん医療の均てん化の促進が謳われており、がん患者がその居住する地域にかかわらず等しくそのがんの状態に応じた適切ながん医療を受けることができるよう対策が繰り広げられております。

今回の第 1 回目の「がんフォーラム」の一番の目的は、市民の皆さまへ「がん」に対する正しい知識、最新の情報を知っていただくとともに、四国中央病院での「がん」に対する医療の実情を知っていただくことにありました。四国中央市のがん患者の中に、治療のため他の地域の病院で治療を受けられている方が多くいらっしゃいます。当日の森本病院長の開会のご挨拶の中で「年間 42 名の方の乳がんを見つけたが、その中で 10 名の方が他の病院で手術を受けられた」とのお話がありました。その原因として、当院ではこれまでもガイドラインに沿った標準的治療を実践しておりますが、そのことが認識されていない、若しくは治療に対しての信頼が得られていないのではないかと考えられました。そこで今回は四国中央病院にてがん診療最前線でご活躍されておられます 5 名の医師が各自専門分野の「がん」についての治療指針や当院での症例、治療実績を紹介させていただくことで、四国中央市の方々に当院の「がん」治療に対してのご理解を深めていただく内容といたしました。また、講演終了後に各演者の先生に方に集まっていただき、

総合討論形式で会場からの多数のご質問にも答えていただきました。一部、専門用語が多すぎる、とのご指摘もありましたが、概ね当初の目的は果たせたフォーラムを開催できたのではないかと思います。



これまで市民の皆さまには四国中央病院内にて「市民公開講座」を開催してきましたが、今回のような病院外、またこのような大がかりな催しは初めての企画でありました。今後も定期的にこの「がんフォーラム」を開催してゆく予定ですが、「がん」に関わる問題は医療だけではありません。経済的負担や在宅を含めた介護・看護そして看取りの問題まで行政や福祉にも今まで以上の支援が必要になってきます。この「がんフォーラム」は、医療・行政・福祉を包括した多面的な観点からテーマを選び取り組んでゆかねばなりません。今回のフォーラムに反省を重ね、来年はより実り多きフォーラムを開催できることをご期待ください。

今回の「がんフォーラム」は講師、会場準備、駐車場案内などをすべて四国中央病院のスタッフで行いました。ご来場いただいた方へいたらなかった面や、事前の周知不足でご来場いただけなかった方々に対しましてご迷惑をお掛けいたしました。紙面を借りましてお詫び申し上げます。

第1回四国中央病院「がんフォーラム」演題と演者

日本のがんの現状	副院長	洲脇謹一郎
胃がん	消化器科部長	藤川 晴信
肝臓がん	第二外科部長	松山 和男
乳がん	第一外科部長	三浦 連人
前立腺がん	第二泌尿器科部長	小島 圭二



～ 開放病床登録医師のご紹介【第8回】～

当院の開放病床に登録された先生方からご紹介いただいた患者さんには、ご紹介の先生と当院の医師とが共同で診療を行っており、入院前から一貫した医療をご提供しています。



生協宇摩診療所

登録医：小原朝彦
住 所：四国中央市寒川町
2912-1
電話番号：0896-25-0114
診療科：内科、消化器科、
呼吸器科、循環器科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:30	○	○	○	○	○	—	×
午前 9:00～12:00	—	—	—	—	—	○	×

※第4土曜日休診

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午後 14:30～17:00	○	—	○	○	—	×	×
午後 14:30～18:00	—	○	×	—	○	×	×



当院は医療生協ですが組合員様が「自分たちが作った診療所」と「語り継がれる」診療所でありたいと願っています。地域住民の「信頼」を得るには「約束」を守ることが必要ですが「中核病院」を建設するとの「約束」をいまだに守っていない加戸、中村はともに前知事、現知事として「愛媛県政治家」として語り継がれる資格は無いでしょう。四国中央病院は「地域住民の健康を必死で守った」と将来にわたって語り継がれる病院になってほしいものです。さて、診療所にいるとジャガイモ、ウリ、ネギ、サクランボ等、四季おりおりの季節を感じることができます。これは地域密着型ならではの感覚だと思います。



中央クリニック

登録医：蓮井雅浩
住 所：四国中央市三島中央
4-12-23
電話番号：(内科) 0896-23-7808
(婦人科) 0896-23-5012
診療科：婦人科、肛門科、
内科、循環器科、
消化器科、小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～13:00	○	○	○	○	○	—	×
午前 9:00～12:00	—	—	—	—	—	○	×

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午後 14:00～18:00	○	○	○	×	○	—	×
午後 13:00～15:00	—	—	—	—	—	○	×



川崎先生が昭和44年に現在地にて川崎産婦人科医院を開業され、平成3年より私が内科を増設し中央クリニックと名称を変えて21年経ちました。研修医制度改革に伴う地方の医師不足は当地の救急医療体制に大きな影響を与えています。救急医療の手助けと思い四国中央病院2次救急登録医をしています。また重症患者の紹介ではいつもお世話になってます、改めて御礼申し上げます。子供達も全員社会人となりました。趣味のゴルフ、お盆休みと秋祭りの休みを利用した海外旅行を楽しみたいと思っています。

診療のご案内

平成24年10月から石井教授(愛媛大学)の診察が始まります。



医 師 石 井 榮 一 教授 愛媛大学大学院医学系研究科
医学専攻 小児科

プロフィール

■学 歴

九州大学医学部卒業

■職 歴

九州大学付属病院小児科 助手、講師
カナダトロント大学付属トロント小児病院 留学
佐賀大学医学部 准教授
愛媛大学大学院医学系研究科 教授

■資 格

小児科学会専門医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
日本血液学会専門医
日本血液学会指導医
日本がん治療学会暫定教育医
日本小児血液・がん学会暫定指導医

■専門分野

血液、腫瘍、免疫不全など

●月2回の診察を予定しております。詳しくは小児科にお問い合わせください。

第6回オープンホスピタルの開催



平成24年8月8日、市内高校生を対象としたオープンホスピタルを開催しました。6回目となる今回のオープンホスピタルには川之江高校生18名、三島高校生13名、土居高校生2名のあわせて33名もの方々に参加していただきました。はっきりと医療職を目指している方だけでなく、まだまだ迷っている方にとっても有意義な体験となったのではないのでしょうか。将来に向けて頑張ってください。

川之江北中学校のみなさん

ありがとう！

北中から車椅子2台贈呈されました。

北中の生徒さんが5年間かけて集めたプルタブで購入した車椅子2台を、プルタブ集めに協力した当院に贈呈していただきました。

7月30日(月)の全校登校日の贈呈式には、事務部長が出席し、お礼を述べました。

そして、8月6日(月)北中の生徒(生徒会役員)さん3名と先生が当院にその車椅子の活用状況を見るため来院されました。

正面玄関入り口に配置して、必要な患者さんのために大事に使用させていただきます。

北中のみなさん、本当にありがとうございました。



新任职員のご紹介

(平成24.6～平成24.8月採用者)

篠原和代【看護師(南館病棟)】

趣味：独学韓国語

早く職場に慣れるよう頑張りたいと思います。そして、色々なことを学び新しいことにもチャレンジしていきたいと思います。よろしくお願い致します。

横内住代【看護補助(北館4階病棟)】

趣味：映画鑑賞

初めての職種なので、分からない事も多く、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、少しでも早く仕事を覚えて、皆様のお力になれるようがんばりたいです。よろしくお願い致します。

長野利子【看護補助(北館3階病棟)】

趣味：編物

二人の孫の者を編んだり縫ったりする事を唯一の楽しみにしておりましたが、6月20日より心機一転して看護補助者として勤務する事になりました。初めての職種で分からない事ばかりですが、一日も早く仕事を覚えて皆様のお役に立てる様に努力します。どうぞよろしくお願い致します。

渡辺麻美【看護師(北館3階病棟)】

信頼される看護師になれるように頑張ります。よろしくお願いします。

岩本沙弥香【看護師(北館2階病棟)】

趣味：裁縫、音楽鑑賞

一日でも早く仕事を覚え、少しでも皆さまのお役に立てるよう頑張ります。毎日楽しく仕事ができたらと思っています。よろしくお願いします。

森実一技【看護補助(北館4階病棟)】

趣味：テニス

初めての職種なので、皆様に色々とお教えいただきながら、早く仕事を覚えられよう頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

土井恵美【看護補助(北館5階病棟)】

趣味：音楽、DVD映画鑑賞

患者さん一人一人があたたかい気持ちになれるよう私も笑顔をつたやさないように心掛けたいと思います。慣れるまでは皆様にご迷惑をおかけするかと思いますが、頑張りますのでよろしくお願い致します。

高石留美子【助産師(北館2階病棟)】

趣味：スポーツ観戦、音楽鑑賞

少しでも早く仕事を覚えて頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

高橋和美【看護補助(北館3階病棟)】

趣味：料理、カフェめぐり

未経験ですので、教えて頂く事も多いかと思いますが、日々の生活の中で、少しでも早く仕事を覚え、皆さんに認めて頂けるようがんばっていこうと思っています。よろしくお願い致します。

糸川美樹【看護補助(北館4階病棟)】

趣味：スポーツ観戦(野球)

7月から勤務することになりました。慣れるまで皆様にご迷惑をおかけする事も多々あると思いますが、頑張りますのでよろしくお願い致します。

宇田巧【事務部】

趣味：音楽、映画鑑賞、ドライブ

初めての職種ですが、早く仕事を覚えて頑張りたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

院内のできごと・お知らせ (H24.6~H24.8)

- 6月26日 第2回肝臓病患者さんの会公開講座「肝臓癌について」
7月3~5日 市内中学生対象 職場体験学習
7月 9日 院内研修「災害時のトリアージについて」
7月21日 第1回「がんフォーラム」
7月26日 第13回市民公開講座「不整脈のお話ー危険な不整脈についてー」
8月 8日 市内高校生対象 オープンホスピタル

第14回 市民公開講座のお知らせ

- 開催日 平成24年9月19日(水)
■開催時間 15:00~16:00
■開催場所 四国中央病院 3階講堂
■演 題
認知症のお話
ーその「物忘れ」は大丈夫?ー
■講 師
心療内科 白石 公先生

※参加費無料。駐車場代も無料です。

肝臓病患者さんの会 第3回 公開講座のお知らせ

- 開催日 平成24年10月29日(月)
■開催時間 15:00~16:00
■開催場所 四国中央病院 3階講堂
■演 題
肝臓病の食事療法
■講 師
管理栄養士 尾崎 美穂

※参加費無料。駐車場代も無料です。

■表紙のことは 一宇摩向山古墳(うまむかいやまこふん)ー

宇摩向山古墳は愛媛県四国中央市金生町下分にある古墳時代終末期(7世紀前半)の古墳です。長方形の墳丘は70m×46m、高さ8mで、四国最大にして全国屈指の規模の方墳であり、単一丘陵上に2基の横穴式石室が平行して築かれた特異な構造を示しております。平成23年に国指定史跡となり、史跡としては愛媛県で14件目、四国中央市では初の国史跡です。石室に使われている30トンもの巨石は、四国中央市の南にそそり立つ法皇山脈から運ばれた物のようですが、その運搬方法は謎とされています。洋の東西を問わず墓にまつわる話にはミステリーは付き物のようです。歴史的には前方後円墳祭式から仏教祭式に移行した時期の古墳であり、これを最後に巨大古墳は全国では造られなくなったことから、律令社会に移ろうとする古墳時代の最後に築造された最大の古墳と考えられております。このような古墳が自分達の住んでいる街の中に、それもすぐそばにあることを知りませんでした。皆さん方も悠久の歴史の流れの中に先人の営みに思いを馳せ、住みなれた郷土の古墳を訪ねてみては如何でしょうか。

(文責 相原)

写真は四国中央市教育委員会文化図書課提供によるものです。

■編集後記

暦の上では立秋を過ぎ朝夕が少ししのぎやすくなったものの、日中はなお厳しい残暑が続いております。巻頭言では洲脇副院長より地域中核病院としての新病院構築の必要が論じられました。中核病院は四国中央市の将来に残せる大きな財産であることは市民の皆さん全てが理解し待ち望んでいることです。このような公的な病院建設には行政の援助が必要であり1日も早い実現が望まれます。病院長の念願でありました第1回四国中央病院「がんフォーラム」が開催されましたので広報委員会で特集を組みました。院外での市民対象の行事は今回が初めてでしたので、主催した側としては当日聴衆が集まるかどうか不安な面もありましたが、酷暑の中にもかかわらず300名もの市民の参加を得ることができました。案ずるより産むが易しです。がんに対する市民の関心の高さに驚くと共に、今後さらに当地域でのがん診療中核病院としての使命を痛感しました。表紙は国史跡の宇摩向山古墳です。普段はまだ発掘調査中にてシートで覆われ立ち入りが制限されておりますので詳しく見ることはできません。四国中央市教育委員会文化図書課の担当の方からいただきました貴重な写真を掲載することができました。

今年も大変な猛暑となりましたが、これから夏場の疲れが出やすい時期です。くれぐれも体調管理にはご留意ください。

(文責 相原)